

【責任者向けプログラム】

令和4年度第3回(11月開催)

業界別サイバーレジリエンス強化演習(CyberREX)in大阪

サイバーレックス

【対象業界:「インフラ系」電力、ビル、鉄道、「プラント系」石油、化学  
「産業系」自動車(製造)、ファクトリーオートメーション】

## ご案内資料

本演習は、情報処理安全確保支援士  
(登録セキスペ)の実践講習としても  
参加できます。

[https://www.ipa.go.jp/siensi/lecture/  
onsite.html](https://www.ipa.go.jp/siensi/lecture/onsite.html)

令和4年8月

独立行政法人情報処理推進機構  
産業サイバーセキュリティセンター

## ■ 令和4年度第3回業界別サイバーレジリエンス強化演習 (CyberREX)<sup>サイバーレックス</sup> Cyber Resilience Enhancement eXercise by industry

### テーマ

業界特性を意識した経営課題解決のためのセキュリティ戦略  
～高まる「サイバーインシデント」の脅威、あなたの部門の備えは万全ですか～

### 対象業界・対象者

- 対象業界は、電力、ビル、鉄道、石油、化学、自動車（製造）、ファクトリーオートメーションに係る制御システムのユーザー企業、系列企業、ハード・ソフトウェアベンダー企業などを対象としております。
- 対象者は、上記企業において、下記の方を対象としております。
  - ✓ CISOに相当する役割を担っている方
  - ✓ IT部門、生産部門などの責任者・マネージャークラスの方

### 開催日程・場所

- 日程: 令和4年11月24日(木) ～ 11月25日(金)
- 場所: グランフロント大阪北館タワーB10階 ナレッジキャピタルカンファレンスルーム タワーB RoomB05+06+07  
<https://www.kc-space.jp/conference/items/towerB.pdf>

### 受講料(一般の方と登録セキスペ)・定員

- 受講料 一般の方:8万8千円(税込)、登録セキスペ:8万円(非課税) ※受講料には、交通費・食事代は含みません
- 最大30名(定員になり次第、募集を締め切らせて頂きます。) ※最少催行人数を10名とします

# 本演習の目的・特徴

- 「**サイバーレジリエンス**」とは、サイバーセキュリティに関する**対応力・回復力**を強化し、企業組織全体の**強靱化**を図ることで。

## 目的

- 本演習では、**業界特性に応じたシナリオ**を通じてサイバーセキュリティに関する**対応力・回復力**を強化した人材の育成を狙います。

## 特徴

- **業界別**に仮想企業を想定した、シナリオによる**実践的演習**の形式を中心としたトレーニングとなっています。
- 常時、新たな**シナリオ**を追加しており、**国内外の最新事例や動向**も取得できるため、企業の安全確保を担う**情報処理安全確保支援士向けの演習**としてご活用いただけます。
- 海外子会社、系列企業、サプライチェーン等のビジネスパートナーが直面するサイバーセキュリティ規制やガイドライン等の解説に関する**集中講義**を行います。



演習の実施風景

対象業界における過去の授業シナリオ例(抜粋)

- DoS 攻撃と鉄道システム
- タンカーが横付けできないサイバー攻撃
- ランサムウェア事案
- クラウド調達
- 海外工場の緊急対応
- 道路インフラへの依存と自動運転
- 監視カメラの脆弱性

等

# 受講による効果・受講生の声

## 受講による効果

- 受講後は、責任者クラスが認識すべき「サイバーセキュリティ課題」や「自社の体制や規程等とのギャップ分析」への**理解度及び対応力の向上**、さらに「起こりうるリスクシナリオ」、「国内外の規制動向、海外事例」に対する**知見の蓄積**といった効果を得られます。
- 受講者間の人脈だけでなく、講師をはじめとするサイバーセキュリティ専門家、監督省庁や関係者との**人脈形成、ネットワークを構築**頂けます。

## 受講者の声

- **自社内の対策の方向性の正しさ、不足部分が明確**になり、大変有意義だった。
- サイバー攻撃等のリスクが高まる中、自身の認識を向上させるだけでなく、**技術を導入し維持する費用がかかる**ことについて、経営層など**舵取りする方々にも理解を深めてもらう必要**を強く感じた。
- **外部組織との連携**など、上の立場でインシデントを見ることができ、有意義だった。
- グループメンバーの**業界情報**や**豊富な知識、経験**を聞け、非常に刺激になった。
- サイバーセキュリティの**世界の動きなど幅広い情報**を教えて頂き、担当する設備が対応できているか見直す良い機会となった。
- **現状でも様々な面でリスクがあることを認識**できた。社内のDX促進などでもリスクを考慮していきたい。

# スケジュール(予定)

## 1日目 10:00~18:00

10:00~  
11:00

### 導入講義

- 本演習のねらい
- サイバーセキュリティとは
- インシデント発生動向

11:00~  
14:20

### グループワーク1

- 課題シナリオ選択
  - ディスカッション
  - 発表資料作成
- ※昼食時間(1時間程度)をはさみます

14:30~  
15:30

### グループ発表(1回目)

15:40~  
18:00

### グループワーク2

- ディスカッション
- 発表資料作成

## 2日目 9:30~17:30

9:30~  
12:30

### グループワーク3

- ディスカッション
  - 発表資料作成
- ※前日の続きです  
※昼食休憩(1時間程度)をはさみます

13:30~  
15:30

### グループ発表(2回目)

15:45~  
17:30

### 集中講義・総合討論・全体講評

- 規制・ガイドライン解説
- 国際標準解説
- 本演習のまとめ
- 講師陣による講評

※開催報告書の送付(通常1か月以内)

・開催報告書を受講者の方に、後日送付

# 講師陣紹介



**門林 雄基**

奈良先端科学技術大学院大学  
教授

- 産官学連携によるサイバーセキュリティ研究開発に20年以上、サイバーセキュリティ人材育成に10年以上にわたり従事。
- 欧米セキュリティ専門機関とともにサイバーセキュリティ国際標準化を推進。国際電気通信連合電気通信標準化部門(ITU-T)におけるサイバーセキュリティ作業部会の主査を2013年より務め、20件の国際標準を成立。
- 予測困難なサイバーリスクと対峙するため、情報交換とならんで相互理解やプロフェッショナル人脈の重要性を説く。



**宮本 大輔**

東京大学 情報理工学系研究科  
准教授  
奈良先端科学技術大学院大学  
特任准教授

- 東京大学情報基盤センター、奈良先端科学技術大学院大学を経て現職。フィッシング対策研究およびセキュリティ人材育成に従事。
- 日欧国際共同研究プロジェクトに参加。ビッグデータと機械学習をセキュリティ用途に応用し、海外からも注目を集める。
- 欧米セキュリティ専門機関とともにサイバーセキュリティ国際標準化を推進。国際電気通信連合電気通信標準化部門(ITU-T)においてフィッシング対策のための国際標準を成立させた。

# 留意事項(1)

- P1に記載の対象業界や対象者に該当しない受講者のお申し込みについては、想定した演習が実施できなくなるおそれがあるため、お断りすることがございます。ご了承の程、よろしくお願いいたします。
- 本演習では、参加者の役職や担当職務、事前に送付させて頂くアンケート、また受講人数のバランスも踏まえ、予めグループ編成を行います。
- 本演習では、グループワークによって、仮想企業における対策立案や意思決定の議論を行って頂きます。業界別に熟議を行いサイバーセキュリティに関する課題を整理して頂くため、自社の状況をお話しいただく場合がございます。この場合、受講者のご判断により、開示できる範囲でご対応の程、よろしくお願いいたします。(なお、会社の状況等、機微な内容は参加者限りとするため、本演習に参加する受講者、講師、他関係者には秘密保持誓約書にサインを頂きます。)

## 留意事項(2)

- 本演習は、情報処理安全確保支援士(登録セキスペ)の実践講習に位置付けられています。登録セキスペの方が実践講習として受講される場合は、以下のサイトからお申し込みください。  
[https://www.ipa.go.jp/icscoe/program/short/specific\\_industries/riss.html](https://www.ipa.go.jp/icscoe/program/short/specific_industries/riss.html)
- 新型コロナウイルス感染防止対策のため、マスクの着用をお願いします。対策の詳細については「新型コロナウイルス感染症防止対策のご案内」をご確認ください。
- 新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、集合形式での実施を中止し「オンライン実施」とします。その場合は、開催2週間前を目途にご案内します。



# お申し込み先・お問い合わせ先



## 募集期間

令和4年度第3回業界別サイバーレジリエンス強化演習(令和4年11月24日~25日開催)の募集期間は、令和4年10月21日(金)までと致します。(募集定員に到達し次第、募集を締め切りとさせていただきますので、お早めにお申し込みください。)

## お申し込み方法

WEB上の受講申込書に必要な事項を記入していただき、メールにてPDFをご送付ください。  
※お申込みいただきましたら、担当者よりご連絡差し上げます。

お問合せ先： 03-5978-7554(直通)(受付時間)平日9:30-18:00  
coe-promotion-info@ipa.go.jp  
担当者： お申込みに関すること 北村/中山  
演習内容に関すること 稲田/中野

※原則として、納入後の受講料はキャンセルされる場合でも、返金は致しかねますので予めご了承ください。

URL: [https://www.ipa.go.jp/icscoe/program/short/specific\\_industries/2022.html](https://www.ipa.go.jp/icscoe/program/short/specific_industries/2022.html)

### 【個人情報の取り扱いについて】

弊機構は、本プログラムの申込のためにご提出頂いた個人情報の適切な管理に努めております。ご提供頂いた個人情報は、本プログラムを提供するために必要な範囲(事務処理および講師への当日受講者リストの配布等)で利用させていただきます。個人情報保護についての詳細は下記のページをご参照ください。

<http://www.ipa.go.jp/about/privacypolicy/index.html>